

# 本を選ぶ

NO.251 2006年(平成18年)4月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<http://www.las2005.com>

本社 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂5-20-5-504 TEL=03-3235-6168

●<あんでな>こより

●本のさわり 第77回

●山岳氷河の懐ふかく屹立する峰々の映像美

●子どもの本の時間 41

## あんでな

### こより

先だって、90歳を越した女性の自費出版をお手伝いさせていただいた。きちんと鉛筆で書かれた400字詰め原稿は、しっかりと和紙のこより（紙縫り）で綴じてあった。近ごろとんと見掛けなくなったものの一つである。

小学校の確か2年のことだった。クラスで七夕飾りをするというので、家に帰って短冊にこよりを付けて持ってくるという宿題が出た。私の父は明治の田舎生まれだから、こよりは生活必需品であり、息子の私も小さいころ伝授されてお手のものであった。家ではかんじより（観世縫り）と呼んでいたように思う。で、私はできるだけ細くより上げた自信作を持って登校した。

提出する段になって驚いた。隣の席の女の子が、こよりでなく黒い木綿糸なのである。先生は一つだけ混じった異形のこよりを事もなげに受け取った。前の席のお調子者が、それをはやし立てようとして振り返ったので、私はにらみつけて黙らせた。

女の子の家がどこかは知っていた。とても小さくて、トイレが外にある家だった。母親との2人暮らしだと聞いていた。だから、こより作りは無理な宿題だったのである。お調子者の彼も、女の子と同じ町内だったから、家の事情というものを知っていて、からかうことに及び腰だったのだ。

当時は家々の暮らし向きにくっきりと差があって、そのことでからかったりするのはルール違反だと誰もが承知していた。

こよりをよれるかどうか、これは大事なことから学校で習うのはいいことだと思った。しかし、家で教わってこい、というのは間違いではないかとあとになって思った。先生は聡明な大人だから、きっと瞬時にそれを悟ったのだ。だから顔色一つ変えなかったのだろう。

ともあれ、こよりで結い、風呂敷に包んだおばあさんの原稿は無事に立派な本に仕上がった。こよりも、風呂敷も、いまや消えゆく存在である。その消えゆくものに包まれて、おばあさんの思いは活字となって残った。そして誰かの本箱の片隅でひそやかに、おばあさんが生き抜いた幾時代かの思い出を語る日を待つことだろう。

さて、冊子の性格からいって、さぞ場違いではあったに違いないが、しばらくこの欄をお借りして、自費出版編集者というやや特殊な目で、拙稿を重ねさせていただいた。私の仕事を煎じ詰めれば、こよりで原稿を綴じるおばあさんや、こよりが作れなかった母と子や、お調子者の旧友や、聡明な先生や、そういう人々の小さな思いを、紙の上に刻していくことだと思っている。それ以上でないが、それ以下ではない。図書館の書架にも年々、自費出版の蔵書が増えていこう。紙に刻された小さな思いが、来館者の誰かに伝わること、それが著者と編集者の願いだ。

(梶邦夫：静岡新聞社出版局)

## 床ずれの本について

床ずれ、医学用語では褥瘡ですが、についても、当然、今は標準的な治療が確立しつつあります。厚生労働省長寿科学総合研究事業「褥瘡治療・看護・介護・介護機器の総合評価ならびに褥瘡予防に関する研究」をもとにした本が出ています。大浦武彦著『わかりやすい褥瘡予防・治療ガイド』（照林社、2001）がそれです。内容としては、褥瘡の状態、ステージの正確な把握から始まって、褥瘡のできる原因、治療方法、予防とていねいに書かれていて、基本的な本だと思います。ただ、最近の新しい動向は紹介されていないので、新刊で何かないか探してみると、『ナースに贈る傷にやさしいラップ療法』（水原章浩著、金原出版、2006）という本が出ているようです。題名からすると、新しい内容と推測されます。

かつての医療関係者、それは病院だけでなく、介護の現場でもそうですが、床ずれは長い間ベッドに寝ていれば、どうしてもできてしまうもので、避けようがない。個人差もあって、できない人もいるのだから、できてしまう人は皮膚が弱くてそうなるので、仕方がないとあきらめるしかない。死ぬよりはましだとあきらめるべきだと、考えていたふしがあります。今でも、病院に入院して、褥瘡ができて帰ってきた例は何件も聞いています。

もちろん、そうは考えない人もいました。私の義理の叔母は看護師出身ですが、床ずれを作ってしまうのは看護師の恥だと言っています。適切な看護があれば、つまり患者の体位変換などを適切にしていれば、床ずれは起きないということです。たしかに忙しい現場で手のかかる体位変換をするのは大変な努力です。それは十分に理解できます。しかし、いったん出来てしまった床ずれは患者の体力を相当に消耗します。特に、ひどくなった場合は骨にまで達することもあるので、痛みもひどくなります。床ずれは絶対に作るべきではないのです。

床ずれの予防という観点でいえば、今は自動的に体位の変換をしてくれるベッドや、体の圧力を

分散させるマットが開発されています。余計なことですが、それは普通のエアマットでは充分ではありません。私個人的には、そういうマットを探して、父親のために購入しましたが、病院のベッドは旧態依然としたもので、結局自宅からそのマットを持ち込んでいました。

こういう予防手段が発達しているにもかかわらず、私の父親だけでなく、いまだに床ずれに苦しんでいる方が何人もおられます。

家政婦やヘルパーなどを個人の家庭に派遣している紹介業の人の話では、床ずれは徹底的に洗うのが第一だということでした。洗うといっても、消毒液で洗うのではなく、清浄な水で洗うということです。私の父親の場合も、自宅療養中は母親が処置していたのですが、褥瘡に関する本を何冊も読み、比較検討し、訪問看護の看護師さんと相談しながら、気長に取り組んだ結果、数年がかりだったと思いますが、死の直前には、きれいに治りました。やったことは、1日に数回の患部の洗浄・消毒と、体圧を分散させる専用のエアマットの使用、そして栄養の改善、これは一般的には胃瘻（いろう）と呼ばれている経管栄養のおかげだったのですが、その三つでした。通常だともっと早く治ってもおかしくはないと思いますが、体力が落ちていたため、時間がかかってしまいました。

結局は医療関係者は床ずれができて仕方がない、生死に関係ないのだからという感覚の方々がおられるということが、根本的な問題だと思います。それを助長するのが、病院の現状です。特に、慢性的な看護師不足、病院経営を十分に利益があがるようにするためには、手っ取り早いのは人件費の抑制が効果的ですから、看護師不足になるわけです。人件費の抑制は病院でなくとも、今日本の組織のどこでもそれを目指していると思いますが、利益を生み出す最も確実な方法であることは分かります。しかし、床ずれは人件費の抑制だといって済ませることのできるような軽微なものではないと思います。

最近の話ですが、鎌倉のある病院でお亡くなりになった方で、床ずれで最後まで苦しんで亡くなられた話をうかがいました。とにかく痛いので、患部を浮かすために、手をさしこんだりと、傍に付いている方も、その痛みをどうしてあげることもできず、大変な心労だったと聞いています。どうも、病院側とうまくコミュニケーションがとれず、事態をいっそう悪化させてしまったようです。

さて、さらに余計な話題になりますが、床ずれの治療は昔は乾かすのが基本だと考えられていましたが、これは全く逆で、今は湿潤に保たなければいけないと考えられています。それと、患部を消毒するために、うがい薬などに使うイソジンを含む塗り薬（商品名でいうと、ユーパスタなど）を使うのですが、これもただ塗ればよいというものではありません。要するに、患部の皮膚の形成を助けるためにはどうしなければいけないかを考えながら、閉鎖的で、湿潤な環境を保ち、薬自体が皮膚の形成をさまたげることのないよう、消毒薬を残しすぎないようにしなければならぬのです。この皮膚の形成を助けるという考え方は、床ずれだけではなく、傷の治療全般に共通する方法論です。

今は、床ずれの患部を湿潤に保つために、さまざまな被覆材が開発されているのですが、それはラップでもいいというのが、最近の話題です。父の死後、床ずれの治療に関する本を詳しくはチェックしていないので断定はできませんが、今は結論にまでいたらず、議論が分かれているようです。

このように、床ずれ一つとっても、盛んに医療あるいは看護技術の改善が試みられています。しかし、第一線の医療現場で、その情報を取り入れて、改善しようとしなければ、患者の側には悔いが残ります。しかも、それが患者の苦しみにつながるようでは悔やんでも悔やみきれません。

もう一つ、例を挙げますと、動けない病人の場合に、いわゆるおしっこ、尿を取るために膀胱まで管を入れる場合があります。医学用語でいえば、膀胱留置カテーテルというものです。一般的には、膀胱留置カテーテルは尿検査のための採尿や膀胱内への薬剤の注入などのために行うものです。私の父親も、排尿が困難になったために、この処置

を受けていましたが、時々膀胱を洗浄しなければならぬのです。膀胱洗浄を略して、「膀胱（ぼうせん）」と呼んでいましたが、1週間に1度くらいの割合でだったでしょうか。

ところが、今は膀胱洗浄は極力やらない方向だと聞いています。それは尿路感染症などの問題が起きやすいからです。ただ、たしかにカテーテルを入れていると、蓄尿バッグが汚れてきて、そこから逆に感染症を引き起こさないか、大丈夫かなと思える点からすると、膀胱洗浄は必要だったのかもしれない。素人判断は禁物であることは間違いないのですが、本当に適切な処置がおこなわれていたのか、疑念は残りました。

さて、ここで1冊紹介しておきたいのは、看護される者の立場から書かれた『「体験」から学ぶ看護ケア——看護処置の痛み・つらさを知ろう』という本です。残念なことに、雑誌の「ナーシングカレッジ」の別冊として発行されましたので、通常の単行本としての流通に乗っていないため、今は手に入らないかもしれませんが、かなり面白い。題名からも分かるとおり、看護処置がどのくらい痛いのか、つらいのかを理解するために、記者が実際に患者と同じ看護処置を受けてみた体験レポートです。食事介助・口腔ケアを初めとして、膀胱留置カテーテルも、浣腸も載っています。ここまでやるのは大したものだと思います。残念ながら、水戸市立図書館にも入っていません。あしからず、ご承知おきください。

医療関係の本は、家庭医学のような簡単なものから専門書までさまざまな本がありますが、専門書は一括りにして、難しいものだと決め付けるのは、短兵急にする発想だと思います。専門書でも、医師向けの専門書と看護師向けの専門書があって、その看護師向けの方は狙い目だと思います。

南淵明宏さんといって、わりと最近売り出し中のお医者さんがいらっしゃいますが、この方の書かれた『患者力——弱気な患者は、命を縮める』という本があります。そのなかで、南淵さんは病気を知るための情報源としては、看護師向けの本がお勧めであると書いておられます。「わかりやすくして情報が新しく、ハンディで値段も安い」というわけです。

（さかべ たけし：水戸市立中央図書館）

# 山岳氷河の懐ふかく屹立する峰々の映像美

写真集『ヒマラヤ百高峰——標高 7000 mを超える氷雪の山々』

三沢 秀次

2006年5月9日は、日本人が初めて8000 m峰に登頂をはたしてから50周年を迎える。1956年、日本山岳会隊によるヒマラヤ山脈のマナスル峰(標高8163 m)の初登頂である。登頂までに、日本山岳会は52年に偵察隊(今西錦司隊長)、53年に第1次登山隊(三田幸夫隊長)、54年に第2次登山隊(堀田弥一隊長)をだし、56年の第3次登山隊(楢有恒隊長)が初登頂をなした。

初登頂の第一報が新聞紙面を華々しく飾ったのは5月18日。このとき、この本の著者、藤田弘基さんは高校2年生。胸をときめかして、何度も繰り返して記事を読んだという。マナスル登頂は8000 m峰8番目の登頂だった。当時、〈ヒマラヤ〉〈8000 m峰〉〈初登頂〉は多くの人々の夢をかき立てていた。

世界最高峰のエヴェレスト(8848 m)にヒラリーとテンジンが初登頂を成したのが1952年、4年前のことである。人類が初めて立った8000 m峰はアンナプルナI峰(8091 m)で、1950年、フランス隊による。この記録はモーリス・エルゾグが『処女峰アンナプルナ』に著している。「インド測量局の地図の誤りを修正し、迫りくるモンスーンの嵐と競うように速攻で人類初の8000 m峰に登頂、そして下山後のたび重なるアクシデントなど、息もつかせぬドラマの展開に、中学生の私はすっかり魅了されてしまった」と本書の取材撮影記で著者は記している。

著者はヒマラヤ関連の登攀記や記録集を図書館で読み続け、山岳部で体力や判断力を養い、ヒマラヤ行に備えた。はじめてヒマラヤの地を踏んだのはマナスル初登頂の年から10年後の1966年、いまから40年前のことだ。あこがれ続けたヒマラヤへの第一歩を刻む地として、バイブルで心に刻み込まれたアンナプルナを選んだ。

アンナプルナの登山基地はポカラで、当時のポカラを伝える写真を本書の巻頭と巻末に掲載した。飛行場は牛や羊が草を食む草原で、町は美しい石畳の道が続き、北のチベット方面からは羊毛や岩塩が運



写真集『ヒマラヤ百高峰——標高7000 mを超える氷雪の山々』藤田弘基 著/A4変型横判/上製本/カラー104頁、本文40頁/定価本体3800円(税別)/2006年4月 平凡社刊

ばれ、ネパール南部からは香辛料や米がロバの背によって運ばれる交易の町だった。自動車道路もなく、数週間のトレッキングのあとでアンナプルナの山々を間近に仰ぎ見た。ヒマラヤの放つオーラに魅せられたという。そして「全ヒマラヤを撮る」という計画をその山に誓った。

以来40年、撮りためてきた作品の中から、標高7000 m以上の山だけを集めて構成したのが、本書である。撮影地は東は東部ヒマラヤから西はヒンドゥー・クシュ山脈まで、東西2800kmにおよび、撮影年は1976年から2005年まで、撮影地の標高は3000 mから6500 mに達する。

エヴェレストや世界2位のK2をはじめ、山岳氷河の懐ふかくに聳え立つ山々の荘厳さを表現するために、目的の山の対斜面に1 mでも高く登り、至近距離で撮影することを心がけてきたという。黎明や夕暮れの光を受けて浮かび上がる大山塊、天女の羽衣を思わせる美しいヒマラヤ襲、たおやかに純白の雪をまとった氷河源頭の峰々、切り立った巨大な岩壁に刻まれた造山運動の褶曲や断層、しずかな氷河湖や大雪原、そして澄みきった空……。生涯、決して見ることが叶わないだろうヒマラヤの風景が、さまざまな表情をともなった作品で展開されている。

本文には40年におよぶ撮影取材行を、掲載した山群ごとに収録した。ヒマラヤへの夢を抱いたきっかけから、撮影でのエピソードをふんだんにまじえてある。世界の屋根は、その多くが国境であり、複雑な政治状況も反映する。インド・パキスタンの山岳兵の駐屯地もあり、アフガニスタンのムジャヒディンにも遭遇する。九死に一生を得た取材もあり、崩落で亡くなった知人の報も現地で耳にする。この一枚を撮るためにどのような準備をし、また天候や状況によって阻まれたのか、その一端が記されている。

ひとりの写真家の歴史と思いが詰まった美しい映像世界が展開する写真集です。ご覧いただけるとう幸いです。(みさわ しゅうじ：平凡社)

# 子どもの本の時間 43

どろんこだいすき！

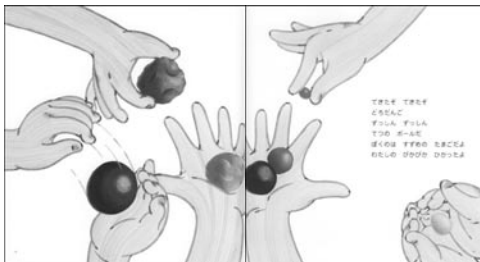
五味 遊由

暖かい日が続くようになると、公園の砂場で遊ぶ子どもたちの姿も多く見られるようになります。今日はじっくり公園で遊ぼうという日は、お砂場道具も持参して全身泥まみれになってもかえって誇らしいもので

すが、買い物の途中にちょっと立ち寄った公園では、出来れば砂場には近づかずにブランコなどで満足して欲しいと思っている、母親の私です。私自身が幼い頃は、毎日、庭や空き地に穴を掘り、花を摘み、這いつくばって

アリを観察していたので、娘が括弧つきでしか泥遊びを楽しめないのは、とても心苦しいのですが。

泥遊びを描いた絵本は、実にたくさんあります。まずは、その王道絵本とでも呼びたい一冊が『どろだんご』（たなか よしゆき 文／のさか ゆうさく 絵 福音館書店 1989年）です。子どもの手と泥をのみ大きくクローズアップした絵と、子どもたちの会話を つづったことばで、生き生きとした泥遊びの様子を描いています。砂に水を入れて混ぜる時の擬音は、「どぼどぼ、ざりざり、たぶたぶ、ぐにぐに」と表現豊かで、「どろのスープ、どろのクッキー、どろのおむすび、どろだんご」と、本当に泥って何にでもなるものなの



ですね。子どもたちの「手」の豊かな動きにも注目されます。

こぐまちゃんシリーズにも、泥遊びを扱ったものがあります。わかやまけん『こぐまちゃんのどろあそび』（森比佐志ほか著 1973年 こぐま社）には、「けんか」が描かれています。こぐまちゃんが作ったおだんごを、しろくまちゃんが石蹴りよろしく踏んで歩き、押し合

いになるのです。二人はすぐに仲直りして大きな山を作りますが、二人が大きな穴に座り込んでいる絵を見て、そうそう、大きい山を作ると、大きい穴が出来るんだよね、いやその逆もあって、大きい穴を作ると大きい山も出来るんだよね、と妙に納得してしまいました。

泥そのものが主人公になる絵本もあります。いとうひろし『どろんこどろちゃん』（ポプラ社 2003年）では、土と水で、どろちゃんがのびやかに誕生！茶色の絵具を使って指で描き、作家の指紋がべたべたと残る、まさに泥遊び感覚で描いた作品です。どろちゃんが、「どろんこ どかーん。」と泥を発射し、「どろはね ぴゅ ぴゅ ぴゅーん。」と泥を蹴っている場面は、子どもたちにとって憧れの、「いつか真似してみたい行為ナンバーワン」でしょう。子どもが、泥に自己投影して遊んでいるのを暗示させる、開放的な気分に満ちた絵本です。（ごみ ゆう：児童書研究家）

## DMかたるく

### 美術フォーラム21 第13号

〈特集〉美術史家の価値評価を問う  
〈仲介の感性論〉世界におけるヴィジュアル・エデュケーション

毎号〈特集〉としてテーマに沿った学術論文と、作品の鑑賞と制作に関わる諸問題を「仲介」をキーワードに論じた〈仲介の感性論〉を掲載。そのほか、資料紹介・アトリエ訪問・作家紹介・美学論考・トピックス・展覧会評も。

■A4判・定価2,415円（税込）

ISBN4-925185-23-3

第14号

本年10月刊行予定

発行・美術フォーラム21刊行会 発売・醍醐書房

〒601-1316 京都市伏見区醍醐古道町20-2

TEL:075-575-3515/FAX:075-575-3525

中央公論美術出版 新刊書

### 中国美術の図像と様式

曾布川 寛 著（京都大学教授）

中国美術は難解であり、表面的な解釈は受け付けない。著者はこの中国美術の理解のため、美術史学と考古学、絵画と彫刻、宗教と非宗教といった既存のジャンルにこだわることなく、大きな視野をもって、図像学を援用し新資料を含む多数の図版により様式論を確立した。収録する図像は秦始皇陵と兵馬俑、崑崙山と昇仙図、漢代画像石、六朝美術、仏教石窟寺院、宋代山水画と多岐にわたる。

A4判上製函入2分冊 総826頁（研究篇544頁 図版篇282頁）  
定価42,000円（本体40,000円＋税） ISBN4-8055-0522-2

中央公論美術出版 <http://chukobi.co.jp>

〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-7 TEL:03-3561-5993 FAX:03-3561-5834

漢字の由来が分かって感激、の声多数

白川静の漢字学入門字書。  
本源にさかのぼれば漢字はこんなにおもしろい。2冊揃えば名付けにも役立つ!

**新刊** **人名字解**  
人名用漢字983文字の字書  
定価1995円(税込)

**既刊** **常用字解**  
日常使用されることの多い常用漢字  
1945文字の字書 定価2940円(税込)



平凡社 〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4  
TEL 03-3818-0874 (営業部)

近代演劇の来歴

歌舞伎の二身二生  
神山彰II著 「近代演劇」において見過ごされてきた心性や舞台、役者をたどり、歌舞伎を中心に明治期の演劇の魅力と源流を再検討する。 五四六〇円

光と影の世紀

映画史の風景  
岩本憲児II著 映画の誕生から今日までの多彩なエピソードと、写しとられた虚実の風景をとおして、映画史百年の時空を旅するエッセイ集。 二五二〇円

源氏物語と物語社会

安藤徹II著 物語内社会と物語外社会という二つの「物語社会」をめぐって、「源氏物語」の(求心力)と(連心力)とを測定する。 六九三〇円

琉球王国と倭寇

おもろの語る歴史  
吉成直樹・福寛美II著 琉球文学の聖典「おもろさうし」を「歴史史料」として扱い、三山鼎立時代から琉球王国成立までの歴史を復元する。 三四六五円

森話社

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-2-3  
Tel. 03-3292-2636 / Fax. 03-3292-2638  
http://www.shinwasha.com ※価格税込

日本国憲法制定の系譜Ⅲ

原 秀成/著 「戦後日本で」

A5判 11025円

新しい憲法構想をめぐって、マッカーサー、アッチソン、幣原、近衛らの思惑が交錯するなか、鈴木「憲法草案要綱」を丹念に追う。



朝鮮韓国近現代史事典

韓国史事典編纂会・金 容権/編

菊判 15750円

李朝末期から現代に至る韓国朝鮮の「読む歴史事典」として好評を博した初版に、拉致、韓流など最新の項目を追加した改訂版。



日本評論社 豊島区南大塚 3-12-4 ☎03-3987-8621  
http://www.nippyo.co.jp FAX03-3987-8590

図書館必備!

人物叢書 最新刊の3冊

241 **桂 太郎** 宇野俊一著  
明治期の軍人政治家。長州藩閥のエリートとして立身し、三たび組閣し桂園時代を担った全生涯。 四六判 2100円

242 **大江匡衡** 後藤昭雄著  
平安中期の文人官僚。妻は赤染衛門、一条天皇の侍読。漢詩文に優れた足跡を残した生涯を描く。 四六判 1890円

243 **京極為兼** 井上宗雄著  
鎌倉後期、革新的な歌論・歌風を以て「京極派」を確立する。兩統対立の政界に活躍した反骨歌人の実伝。 四六判 1995円

価格 税込  
東京都文京区本郷七丁目二一八  
電話 〇三三三八三一九一五一  
吉川弘文館

にほんの建築家 伊東豊雄・観察記

「建築家とは、思考力、造形力、構成力、経営力を備えもち、闘争心を燃やし続けている人物である」。ジャーナリスト瀧口範子による、日本を代表する建築家の密着取材記録。

著: 瀧口範子  
定価1,890円(本体1,800円+税) 四六判、432ページ

手塚貴晴+手塚由比 建築カタログ

夫妻で活動している若手建築家ユニットの初の作品集。デビュー作「福島病院」から最新プロジェクトの「ふじようちえん」まで38作品を紹介。

著: 手塚貴晴+手塚由比  
定価2,520円(本体価格2,400円+税) A5判、344ページ

TOTO出版  
〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル2階  
TEL: 03-3402-7138 FAX 03-3402-7187  
URL: http://www.toto.co.jp/bookshop/

図書館・読者と出版社を結ぶホットライン

歴史書通信

加盟16社による最新の歴史書情報

No. 165 5月号

2006年4月24日発行

植木屋はどこから来てどこへ行くか? / 平野 恵  
歴史書新刊・重版ニュース [3・4月]  
歴史書以外の人文社会図書新刊案内 [3・4月]  
歴史書ベストフェア出品/参加書店一覧

歴史書懇話会

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内  
ホームページ http://www.hozokan.co.jp/rekikon/

レファレンスから選書まで幅広くご利用いただけます

# 歴史図書総目録

最新版 2006 A5判/716頁/頒価400円(本体381円)

- ◆ 170社の約9110点を紹介。
- ◆ 歴史一般・考古学・日本史・世界史・文化史・伝記・地理7部門に大別。中分類40項目、小分類(専門分野)165項目。別に「歴史関係雑誌一覧」
- ◆ 書名でも著(編・翻訳)者名でも探せる巻末索引。
- ◆ 「掲載出版社一覧」を利用して、直接版元様にお問い合わせいただけます。
- ◆ 書店様にてお取り寄せください。

## 歴史図書目録刊行会

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内 TEL03-3266-9521

隔月刊

国際交流が  
つなく  
彼方と此方

# 遠近

wochi kochi

2006年4・5月号  
絶賛発売中!

10  
をちこち  
4月1日発行  
定価525円(税込)

特集

## 世界で愛される日本食

【掲載】  
日本の食文化を世界にどう発信するか  
榎ふみ×辻芳樹×西川恵  
寿司こそ、世界最初のファストフード  
四方田大彦

- 日本酒の魅力の世界に伝えています
- 器から見た日本の食文化
- シドニーの食を変えた日本人シェフ
- 松江和菓子、ニューヨークへ行く
- フランス人シェフ5名の来日研修 ほか

(主な寄稿店) 八重洲ブックセンター本店/ジュンク堂池袋本店/丸善丸の内店/三省堂書店神田本店/岩波ブックセンター/紀伊國屋書店新宿本店/紀伊國屋書店新宿南店/ブックファースト渋谷店/東京堂書店神田本店/有隣堂本店ほか全国主要書店、Amazonほか主要オンライン書店



定期購読受付中

(発売) 山川出版社 TEL: 03-3293-8131 FAX: 03-3292-2994  
(発行) 国際交流基金 (ジャパンファンデーション) www.jpft.go.jp/j/publish\_j/wochikochi/index.html

3月 / 4月 / 5月刊行

千葉県の歴史散歩

5月刊行

山口県の歴史散歩

3月刊行

愛媛県の歴史散歩

3月刊行

山川出版社

4月完結

### 山川出版社

シリーズ刊行完結のお知らせ

### 石井進の世界

全6巻

定価 各巻6,825円

四六判 上製本 カバー掛け  
本文90ページ 平均400  
頁 各巻解説・月報付

日本中世史研究の泰斗・石井進が辿った軌跡を、三つの書物と対談・書評などで構成し、さらには今後の中世史研究の方向性に関わる著作を取録して、その世界の広がりや深み、魅力を味わうシリーズとした。

ご好評の新歴史散歩が判型、文字ともに大きくなって2〜4色刷りになって生まれかわりました。既刊分も含めお揃えください。

定価 各巻1,260円(税込) 全巻セット価格71,820円

第9回配本

第10回配本

第11回配本

第11回配本

〒100-0047 東京都千代田区神田一三三-13  
電話 03-3293-8131 http://www.yamakawa.co.jp

## いふがえり 講談の世界

全3巻

日本人を熱狂させた魅力あふれる物語が本とCDでよみがえる。  
各巻には三代目旭堂小南陵による、完全新録音のCD付!!  
おもわず引き込まれる物語の数々!!

三代目旭堂小南陵・島田大助編  
ご存じ、助さん、角さんをお供に連れて水戸黄門光圀の世直し旅、テレビシリーズとはひと味もふた味も違う水戸黄門漫遊記の決定版!

【安倍晴明】◆ 第二回配本 ◆ 予価二五〇〇円  
三代目旭堂小南陵・杉本好伸編  
御宿に罹った天皇を平癒すべく、嵐屋道満と対決し勝利した晴明であったが、その身には謀叛人・藤原元方と道満の魔の手が忍び寄る……

【番町皿屋敷】◆ 第三回配本 ◆ 予価二五〇〇円  
三代目旭堂小南陵・堤邦彦編  
家宝の皿を割った罪により、殺されたお菊は、亡霊となり、夜な夜な井戸端に姿をあらわし皿の数をかぞえる。皿屋敷もの講談の決定版!

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15  
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427 【税込価】

## 「ヤマギシ会」と家族

—近代化・共同体・現代日本文化 黒田宣代

「ヤマギシ会」の特長・時間的変遷などを参画者へのアンケート調査・実地調査等を通して詳細に調査・検証する。2625円

## 意志と価値の理論

—生命の哲学 小松寿

混迷の時代における新哲学の曙光! 人間を捉える一般理論を探索。人間存在に新たな視座を与える哲学書。3150円

## ドイツ高速鉄道脱線事故の真相

—技術者の責任論から 平川賢爾

1998年、死者101人を出したドイツ列車事故。破壊力学・金属疲労の観点から原因を徹底追究する。4200円 (全て税込価)

慧文社 〒174-0063 東京都板橋区前野町4-49-3  
TEL03-5392-6069 FAX03-5392-6078

## 結婚の法律学 第2版

棚村政行編 結婚や夫婦関係、家族をめぐる法の基本的しくみを解説し、結婚、家族にまつわる最新の問題や法現象を考察。(有斐閣選書 二二〇五円)

## はじめて学ぶ 乳幼児の心理

こころの育ちと発達の支援

(有斐閣ブックス 二二〇五円)

桜井茂男編 乳幼児の心理を学ぶうえで基礎となる概念から新しい研究例までをバランスよく解説。

\*価格は税込

東京都千代田区神田神保町2  
電話03-3293-8131  
http://www.yuhikaku.co.jp/

有斐閣

今までなかったこんな物語  
古市卓也

# 黒猫が 海賊船に 乗るまでの話



梨木香歩「裏庭」が受賞した  
＜児童文学ファンタジー大賞＞  
の最終候補作！ 定価 1680円(税別)

理論社 〒162-0056 東京都新宿区若松町 15-6  
TEL03-3203-5791 FAX03-3203-2422  
http://www.rironsha.co.jp

## 限りなく広がる知識の世界 日本語慣用句辞典

豊富な用例を示して  
使い方を解説した初  
の辞典！



米川明彦・大谷伊都子編  
「足を棒にする」「手塩  
にかける」など日常使  
用する慣用句1600を収  
め意味・用法・類句な  
ど詳細な解説を付す。  
四六判 3990円(税込)

東京堂出版 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17  
TEL 03-3233-3741 http://www.tokyodoshuppan.com

## こんにちは アスラン書房です

図書目録をお送りします

アスラン書房のシンボル、ライオンは「アス  
ラン」という名前です。C. S. ルイスの傑作フ  
ァンタジー『ナルニア国ものがたり』に登場  
します。アスランといっしょに、ワクワク、  
ドキドキの本の世界を旅してみませんか。

170-0013 東京都豊島区東池袋 4-29-12-401  
TEL.03-3590-8280 FAX.03-3590-8435  
http://www.aslanshobo.com

## 石川幹人 心と認知の情報学

ロボットをつくる・人間を知る  
心の科学の新展開を追う。2205円

## 和泉広恵 里親とは何か

家族する時代の社会学 里親の語  
りから家族の核心に迫る。2940円

## 宮寺晃夫 教育の分配論

公正な能力開発とは何か 平等理  
論の鍛え直しを図る考察。2940円

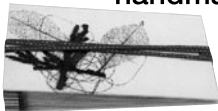
勁草書房 \*価格税込  
http://www.keisoshobo.co.jp

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

手で作る本  
ステッチをするように糸でとじ  
た本、好きな布を表紙にしたノ  
ート、革を表紙に手軽に作るダ  
イアリーなど、手で作るさまざま  
まなスタイルの本を作り方とと  
もに紹介。オリジナルの本作り  
が身近になります。



handmade bookmaking



山崎  
曜

定価1,575円(税込)  
ISBN4-579-20970-2

文化出版局 〒151-8524 東京都渋谷区代々木3-22-7  
TEL03-3299-2540 http://books.bunka.ac.jp/

# 書物復権

10周年拡大版

12社共同復刊

新曜社  
創元社

特別参加

筑摩書房  
平凡社

岩波書店

白水社

紀伊國屋書店

法政大学出版局

勁草書房

みすず書房

東京大学出版会

未來社

紀伊國屋セミナー「書物復権」2006  
詳細は http://www.kinokuniya.co.jp/